

サービス産業の高付加価値化に関する研究会の設置について

平成26年1月20日

商務情報政策局

1. 設置の趣旨

- 我が国のサービス産業は、GDP の約 7 割を占め、雇用の面からも大きなウェイトを占めており、サービス産業が経済全体に与える影響が高まってきている。我が国経済の再生やデフレ脱却のためには、サービス産業の生産性向上・高付加価値化が必要。
- 日本再興戦略においても、「付加価値の高いサービス産業の創出を図る」との方針が示されている。これを踏まえ、サービス産業の生産性向上・高付加価値化に向けた新たな具体的方策の検討を行う場として本研究会を設置する。

2. 主な検討内容案

サービス産業の生産性向上・高付加価値化の実現に向け、例えば以下のような論点が考えられる。その他の論点についても、必要に応じ、随時検討を加える。

- 事業の高付加価値化を担う人材育成
- 「攻めのIT投資」の促進
- ビジネス支援サービス産業の振興と当該サービスの活用
- サービス産業の高付加価値化を実現するビジネスモデルの革新

3. 議事の公開について

- 本研究会の議事は、原則公開する。
- 配布資料及び議事要旨は原則として経済産業省のホームページにて原則公開する。
- ただし、座長が特に必要と認めるときは、議事、配布資料及び議事要旨の全部又は一部を公表しないものとする事ができる。